

## 令和6年度 第2回学校運営協議会

日時：令和6年11月26日（火）

場所：大阪府立豊中高等学校能勢分校 会議室

出席者：11名

能勢分校会議室において、第2回目の学校運営協議会を開催しました。学校運営協議会委員6名、学校側からは准校長、教頭、課長補佐、首席が出席しました。

2回目の運営協議会では農場での授業見学後、今年度の能勢分校の課題や方向性について議論しました。

### 内容

#### 1. 准校長挨拶

- ・新しい学校パンフレットと、スクールミッションについて説明。地域の方々とともに学校づくりを進めていきたい。
- ・運営協議会委員の皆様から教育活動や学校づくりのアドバイスをいただきたい。

#### 2. 協議

##### (1) 農場見学について

###### 【委員】：

- ・農場の説明を受け、広大な敷地を管理する大変さを感じた。1年生は週1回の授業で多様な体験をしている。生徒の包丁さばきが上手で驚いた。
- ・昔はブドウ栽培がメインだったが、現在はさまざまな品種を育てている。
- ・鶏の飼育を通じて命の大切さを伝える取組みが重要だと感じた。
- ・1年生の8名が真剣に授業に取り組んでいる様子が印象的で、少人数だからこそ深い学びができていると感じた。
- ・能勢町の観光資源としても活用できる可能性を感じた。黒米の栽培などは珍しく、非常に魅力的である。

##### (2) 授業アンケートについて

【准校長】：授業評価アンケートは年2回実施。

第1回目の結果では、1年生の評価が昨年度より低い状況。理由としては、教科の課題が生徒に影響していないことや予習・復習が難しいと感じていることが挙げられる。

2年生は専門性が高まることでモチベーションが向上し、評価が高くなっている可能性がある。

3年生は自由選択科目が増えることで進路意識や関心が引き出され、評価向上につながっていると考えられる。小規模校の特性を活かし、教科を超えた横のつながりや教員間の共有を重視している。

### (3) 各系列の取組み

【教職員】：探究コースでは、豊中高校の土曜日講座に1・2年生が参加し、国数英の授業をオンラインで受講。また、大阪大学の講義にも参加。

食農流通コースでは、農業クラブ大会に出場し、全国大会にも2名が参加。課題探究テーマは『養蜂』と『ドローン』の活用。

対人支援コースでは、実習や要約筆記を学び、課題探究テーマ『手話』や『体力向上』に取り組んでいる。

里山起業コースでは、ビジネスプランの学習を行い、離島での宿泊プラン提案やVRゴーグルを用いた家具配置の提案などを行った。課題探究テーマは『カメムシ』や『空き家再生』。課題探究の最終発表会は12月20日（金）を予定。

### (4) これからの能勢分校の課題

【准校長】：大阪府は私学の無償化を進めている。そのような状況下で入学者数をどう増やすかが課題。本年度の体験会は全3回行い、参加者は昨年より12名減の50名。学校説明会は全2回行い、参加者は3名減の16名。実際に学校に来てもらい、本校の魅力を知っていただく機会を増やしたい。

## 3. 連絡その他

第3回 3月5日（水）15：00～

以上